

令和7年度 大正北中学校中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

◎全国学力学習状況調査

国語… 話すこと・聞くことの単元では昨年度48.3%の正答率をあげていたが、今回は44.2%にまで下がった。一方で、読むことの単元では昨年度の39.0%から55.8%へと大幅な上昇が見られた。また、問題形式別では、記述式問題の正答率が15.4%と他の問題形式より目立って低くなっている。全体としては、大阪市より正答率が4ポイント低くなっているが、昨年の7ポイント差と比較するとその差は縮まってきている。

数学… 図形問題の正答率が40.0%と昨年度の36.8%よりは改善されているものの、府の平均よりも約6ポイント低く、数と式の領域とともに、他の領域と比較した場合は、未だ課題を残している。全体としても大阪府平均との差は11ポイント低く、総合的な底上げが必要である。

理科… 今回、試行的にオンラインで実施された。IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論で、この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じ尺度で比較することができます。

その結果本校は全国・大阪市よりもIRTスコアーは低い結果となった。

【今後に向けて】

◎全国学力学習状況調査

国語… 読み書きを中心に基礎的な学力を身に着けさせることが今後さらに必要である。

数学… 引き続き計算問題等の基礎を確実に身に着けさせることに加え、図形問題など応用的な分野に対応できる学力の構築を図る必要がある。

理科… 1年時からの基礎的な内容を、しっかりと復習していく必要がある。